22105 総合演習 f General Seminar		3 年次～ 通年 2 単位	
担当者	川上 美智子	履修可能学科	F 必
		関連資格	教職・管理(F)
サブタイトル	生活課題解決のプロセスを学ぶ		
授業内容 ： ねらい	この授業のねらいは、a) 人間が生きる基盤である生活領域は幅広く、人間、社会、自然・生態系が互いに関連していることを理解する。b) 食生活領域の今日的課題を考察し、文献検索、調査、実験研究等の手段を用いて問題を解決する能力を養う。c) 食を題材として、総合的な学習等を指導するための指導方法や技術を養う。 人間社会、地域、家庭生活領域の中にある教育教材や研究課題を抽出する。それらの問題点、関係性を考察し、解決の道筋を考える。実際に文献検索、調査、実験、実習などを通して、答えを導き出す。さらに、その結果をプレゼンテーションする。テーマとして以下のものが考えられる。 1) 世界および日本各地の食について調べ、国際的な視野にたち、健康な生活について理解を深める。 ①食材や食文化の特徴や調理の仕方を調べる。②各国の栄養状態と食物環境を比較する。③乳幼児や子どもの食の諸問題について調べる。 2) 成長期にある子どもや青少年期の食についての理解を深める。 ①現代の子どもの食全般に係る課題を調べる。②子どもにとって望ましい食事、運動について調べる。③子ども時代から始まる生活習慣病と食生活の関係性を調べる。④家庭の食の役割及び学校給食の意義について考察する。 3) 中食、外食に依存しがちな現代の食のあり方を検証し、健康保持に配慮した家ごはんをサポートする献立開発やサポートのあり方を検討する。		
授業計画	[年間授業計画] 11～20. テーマ2：子どもと食 上記分野でテーマを設定し同様に取り組む 21～30. テーマ3：家ごはんの検討 上記分野でテーマを設定し同様に取り組む 1. 問題抽出 2. 問題の背景検討 3. 解決法の検討 4～7. プロジェクト 研究テーマ1：食生活と文化 8～9. 結果まとめ 10. 結果発表（プレゼンテーション）・相互評価		
教科書 参考書	授業時に指定。		
評価方法	授業態度、レポート、プレゼンテーションを総合して評価する。		
事前準備学習 履修条件等			